せんみょういん
泉明院

天台宗のお寺で、伝教大師(最澄)が自ら創った薬師丸如来がご本尊と伝わる。ここから望む伊吹山は絶景。名神伊吹パーキングの南400mに位置する。

ようめいじ
永明寺

柏原宿の隠れ寺院。黄檗宗。寛文4(1664)年、鉄心和尚によって創建された。本堂は天明6(1786)年の建築。明朝風の構造で総欅作りで、一見の価値がある。

はなしうぶえん
花菖蒲園

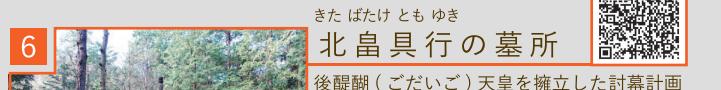
花菖蒲園は、県下第一の広さと花の多さにある。色彩も豊かで、「白」「黄」「紫」「黒」「群青」「藤」「水色」がある。花のシーズンには、2万本以上が咲き乱れる。

たけくらべじょう
野瀬山と長比城跡

長比城は東山道(中山道)をおさえるために浅井長政によって長比山(野瀬山)に築かれた城。織田信長の朝倉氏攻めに離反した長政が、信長の侵攻にそなえて近江と美濃の国境にあるこの地を防衛ラインに設定し築城した。土壘などが良好な状態で残されている。登山道は整備され登りやすい。

とくげんいん
徳源院

中世に近江北部を領した佐々木京極氏の菩提寺。境内には京極氏歴代の宝篋印塔34基が並び、墓地全域は国指定史跡、三重塔は県指定文化財、庭園は県の名勝である。春は桜、初秋は萩、晩秋は紅葉と四季折々の風情を楽しむことができる。

きたばたけともゆき
北畠具行の墓所

後醍醐(ごだいご)天皇を擁立した討幕計画である元弘の変(1331)の中心人物・北畠具行は、捕らえられ鎌倉に送られた。その途中この地にとどまり、護送する京極高氏(道誉)によって再三幕府へ助命嘆願されるがかなわず、この地で処刑された。墓は国指定史跡。

四季彩の 柏原宿

KASHIWABARA MAP



「四季彩の柏原宿」とは

中山道の宿場町であった面影を色濃く残すまち、柏原。

街道沿いには、伊吹もぐさの老舗や格式のある旅籠である郷宿、また、宿場内に4軒あったという旧造り酒屋など数々の歴史的な建造物が点在しています。

わたしたちは点在する歴史的ポイントを季節の旬の花々でつなぎ、まちに彩りをそえたいと計画し、「四季彩の柏原宿」と命名。その整備に取り組んでいます。

湧水池など今後の整備が待たれるポイントもありますが、わたしたちのまち「柏原宿」をゆっくりと散策してみてください。



公式ウェブサイト
「中山道柏原宿」



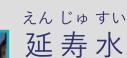
公式Instagram
「四季彩の柏原宿」

ACCESS

公共交通で JR米原駅より東海道本線上り乗車
JR柏原駅下車

自動車で 名神高速道路 関ヶ原ICより
西へ車で柏原まで約15分

北陸自動車道
名神高速道路 米原ICより
東へ車で柏原まで約15分

えんじゅすい
延寿水

以前、この土地は広い空地で由緒ある松の木が5・6本とどんなひでりでも水のかれた事のない泉(というか池)があり、子どもの遊び場だったそう。この泉は柏原御殿の台所跡にある大井戸で、「延寿水」と呼ばれ、お茶をたてるのにその水を汲んだといわれる名水だったそうで、今もそのあとだけが残っている。

みょうじょうれいすい
明星靈水

泉明院の境内に、明星靈水の祠がある。中の水は靈験あらたかで「目の病気に効く」との言い伝えがあり、中山道を歩く多くの旅人が泉明院に参詣した。

しらしうず
白清水

ここの大湧水は、古代伊吹山での戦乱で毒矢を受けたヤマトタケルノミコトが、この水で熱をさまし、正気を取り戻したと伝わる。

ちょうめいじ
長命寺湧水

湧水の上にはこらがつくられて3体の石像がお祀りされている。宿場にとって湧水は井戸と共に最も大切で、神の宿る場所として考えられてきた。この神を畏怖し、親しみ、また供物を捧げて祈り、懇願してきた場所。この地一帯は、かつて京極氏の家臣であった箕浦氏の屋敷が広がっており、湧水地は堀の一部と考えられている。

しゅくむら
宿村湧水

問屋場は、人馬の継ぎ立て業務を行ったところ。その問屋場前にある湧水池。荷物を問屋場の前で馬からおろし、新しい馬に積み替える場でもあり、人馬への給水にも利用された湧水池。

しょうぶ
菖蒲湧水

道標「やくしみち」の近くにある湧水。日常生活に欠くことのできない「水」。湧水池、また井戸は生活における「飲み水の場」であり、「洗い場」、「ものを冷やす場」であった。その場所は地域が共同で使用する場であり、コミュニケーションの場でもあった。このような水を守ることは、生活環境を守ることにもつながっている。

